



## かけはし

発行日：2012年11月 1日 第23号

発行：国立病院機構



災害医療センター  
地域医療連携室

発行責任者：院長 高里良男



### 新地域医療連携室長挨拶

10月1日付けで佐藤康弘統括診療部長(現副院長)のあとを受けて、統括診療部長を拝命しました。4人目の統括診療部長となります。先生方には日頃の病診・病病連携でお世話になっておりますが、地域医療連携室長も兼務いたしますので、よろしくお願いします。

私は、1996年5月、開設間もない当院の消化器外科の肝胆膵領域の立ち上げの命を受けて赴任しました。2001年11月には医長を拝命、現在までの16年間当院とともに歩んできました。病院の発展とともに旧国立病院時代には対応困難な肝がん切除、膵がん切除でしたが、先生方の御紹介により手術症例が増え、高度技能医指導医を取得、当院は日本肝胆膵外科学会修練施設となっております。しかし初期研修医制度の影響と外科医希望者の減少から当科医師の減少を一時余儀なくされました。幸い当院初期研修医から育成した外科医5名を含め、現在9名の医師が移植医療以外の消化器外科に対応しています。今回外科だけでなく病院の発展に更に力を出すようにとのことで統括診療部長兼地域医療連携室長に就任した次第です。

地域医療連携室は、今秋患者様の利便性を計るため9階から1階に移動しました。連携登録医はいまや310名にのぼり、当院を日頃活用して頂き感謝しております。地域医療連携室は係長1名、MSW8名、退院支援看護師1名、連携事務6名の16名のスタッフが、先生方との連携医療が円滑に手厚く対応できるように体制を整えております。

現在142名の医師が在籍し北多摩西部医療圏を中心に日夜診療にとりくんでいます。自分たちの医療を今以上に地域に提供できるよう努力をして参りますので、先生方には、ご指導、ご鞭撻のほどをお願いします。



伊藤 豊  
地域医療連携室長  
(統括診療部長)



医療相談係



地域医療連携室



# 武蔵村山市医師会 と 災害医療センター 医療機能連携の会 を開催しました

## 災害医療センターとの医療連携懇親会

去る9月4日(火)に災害医療センター9階レストランにて武蔵村山市医師会との医療機能連携の会が開催されました。北多摩西部医療圏では最後になりましたが、当医師会からは11名が出席しました。

会に先立ち、救急外来やCTや放射線治療室、研修施設等の見学を行いました。研修施設では、ちょうど形成外科医の指導で、研修医の先生が豚の皮膚を使って縫合の練習をしていました。その若い真剣な眼差しが印象に残りました。

会長の挨拶の際には、日常の診療における患者さんの紹介や救急患者さんの受入れに対してお礼申し上げ、このような「顔の見える医療連携」が行われることによってお互いを知ることができ、今後の連携に役立てて欲しいことを話しました。

「災害医療センターは特殊で敷居が高いのでは、」という話をしたところ、多くの会員から「そんなことはない。前身の立川病院時代から永年に渡って連携がスムーズに行われていて、多くの患者さんがお世話になって感謝している。」という話が出て、災害医療センターとの医療連携が各科ともしっかり根付いていることを教えられました。

また、災害医療センターのもう一つの顔である災害医療につきましても、講演会の講師派遣をお願いしましたところ快くお引き受けいただき、11月6日(火)にトリアージに関する学術講演会を開催することがその後決まりました。会員からもこの会に出席して、医師の名前と顔が一致して良かったという話を聞き、今後もこの医療機能連携の会が定期的開催され、より一層「絆」が深まることを期待しています。



武蔵村山市医師会  
押切 勝会長



高里院長による挨拶



指田先生による挨拶



地域の先生方と  
顔の見える連携を  
とることができました





# 5月からの 新任外来医師紹介



救命救急科  
霧生 信明 医師



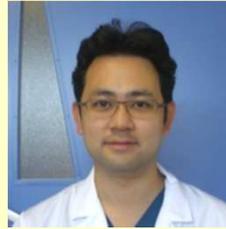
2年間米国で災害医療について研究して、9月より復職しました。外傷診療・手術を主に担当しております。よろしくお願いいたします。

血液内科  
萩野 剛史 医師



微力ながら地域医療に貢献できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

心臓血管外科  
木村 玄 医師



5月より赴任しております。心臓弁膜症、腹部大動脈瘤の患者さんなどいらっしゃいましたら御相談いただければ幸いです。金曜日の午前中に外来を担当しております。

呼吸器外科  
松岡 弘泰 医師



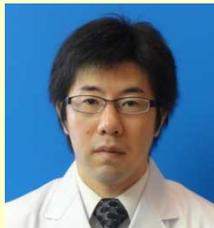
病棟診療と手術を担当します。丁寧な診療、安全な手術を心掛けて頑張っております。

循環器内科  
近江 哲生 医師



心不全診療、冠動脈・末梢血管治療を得意としています。管理にお困りの患者さんのご紹介をお願い申し上げます。

消化器・乳腺外科  
吉田 直樹 医師



病棟診療、手術を主に担当しております。少しでもお力になれるよう努力致しますので、何かありましたらよろしくお願いいたします。

整形外科  
三嶋 信太郎 医師



外傷の診療、手術を主に担当しております。お力になれるよう努力致しますので、何かありましたらご相談をお願いします。

形成外科  
大和 義幸 医師



水曜日に外来を担当しております。よろしくお願いいたします。

## 認定看護師紹介

### がん化学療法 看護認定看護師

がん化学療法看護認定看護師の出水美樹、井田香織です。化学療法を受ける患者様・家族の方が主体的に治療に向き合えるよう支援していきます。副作用対策をはじめ、治療に伴う苦痛な症状に対して生活に合わせた方法を患者様と共に考えていきます。また化学療法を続ける中、あらゆる治療過程の中で変化する患者様の思いに寄り添いながら支えていきたいと思っています。



井田香織看護師(中)

出水美樹看護師(左)

佐藤希笑看護師(右)

### がん性疼痛 看護認定看護師

がん性疼痛看護認定看護師の佐藤 希笑です。緩和ケアチームの一員として医療用麻薬・緩和ケアに対する誤解を解いて、適切な緩和ケアが受けられるように努め、がん患者様が抱える苦痛を少しでも緩和し、望む生活が送れるよう支援しています。





# VA-NHO Visiting Resident Programに参加して

呼吸器内科 医師 福住 宗久

この度、VA-NHO Visiting Resident Program（国立病院機構と米国退役軍人健康庁の提携により、米国退役軍人病院に専修医を留学派遣する制度）に参加させて頂きました。

VA(Veterans Affairs) West Los Angeles Medical Centerに7週間滞在しInfection Disease、Pulmonary and Critical care で研修を行いました。Coccidioidomycosis、HIV感染症など日本では比較的にまれな症例を経験でき、優れた教育制度、高い専門性とチーム医療に大きな刺激を受けました。明日からの診療に少しでも生かせるようがんばります。



VA Medical Center



Dr. Kaunitz(左)と呼吸器科レジデントとともに(中央筆者)



感染症科のレジデント



サンタモニカの夕焼け

## 地域医療連携室の対応時間拡充のお知らせ

電話対応時間・番号

平日 8:30 ~ 17:15 ⇒ 8:30 ~ 19:15 に延長  
電話番号 042-526-5613 (直通) 災害医療センター医療連携室

夜間 19:15 ~ 翌日8:30 (土曜日、日曜日、祝日は終日)  
電話番号 042-526-5511 (代表) 災害医療センター事務当直

なお、通常の診療・検査予約に関しては、従来どおり  
平日8:30~17:00(FAX 042-526-5547)とさせて頂  
いていただいておりますので、よろしくお願いたします。

医療連携ニュース「かけ  
はし」へのご意見ご感想  
をお待ちしております。  
ご連絡は地域医療連携  
室まで。

【地域医療連携室直通】

担当:樋口(ひぐち)

TEL:042-526-5613

FAX:042-526-5547

Eメール

[renkei@tdmc.hosp.go.jp](mailto:renkei@tdmc.hosp.go.jp)

